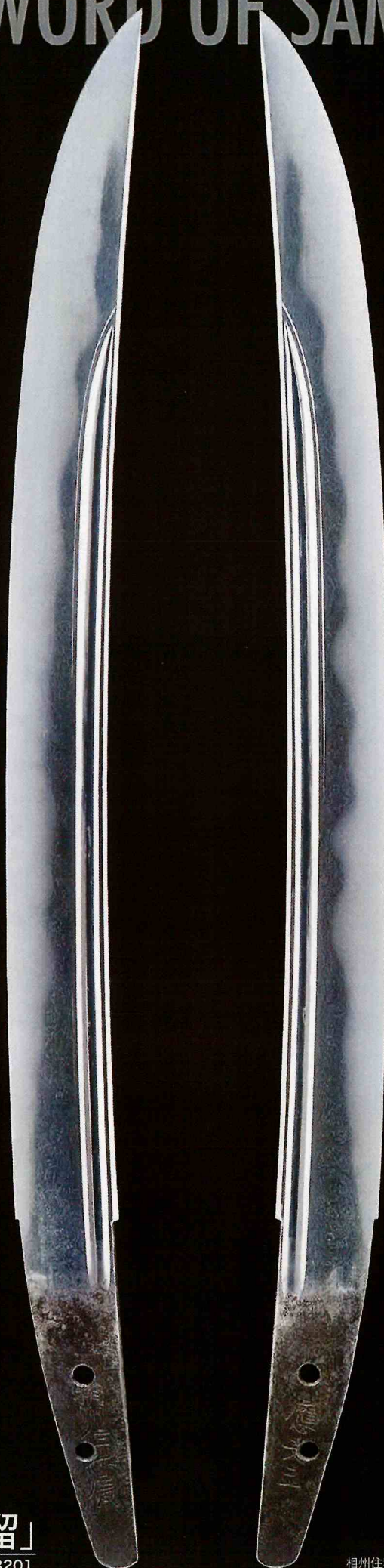


JAPANESE SWORD OF SAMURAI SPIRIT

崇高なる造形

日本刀

名刀と名作から識る武士の美学



会期：令和2年11月7日(土)ー令和3年1月24日(日)

都留市博物館「ミュージアム都留」

山梨県都留市上谷一丁目5番1号

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(祝日開館)、11月24日、12月29日～1月3日、1月12日

観覧料：600円(420円)(一般)、400円(280円)(高校・大学生)、200円(140円)(小・中学生)

※20名以上団体、JAF会員は割引料金

都留市博物館

「ミュージアム都留」



TEL 0554-45-8008・8608 FAX 0554-45-8201

相州住秋廣 佐竹家伝来(重要美術品)

名刀と名作から識る 武士の心

日本刀は、武器として優れているばかりではなく、それ以上に芸術作品としても優れていることは世界によく知られています。

日本人は、「古事記」にある三種の神器である、鏡、玉と剣のうち、剣を最も大切にしてきました。そのせいか、平安時代末期のような1000年近くも経過している刀剣も数多く伝世し、一般愛好家の所藏品になっています。これは日本の美術である、絵画、彫刻やその他の工芸全般から見ても極めて特殊なことです。

12世紀に鎌倉幕府が開かれて以来、武家が政治を担ってきたことも刀剣に対して畏敬の念を抱くことになる大きな要素になりました。戦国末期から桃山時代には恩賞として使われ、江戸時代になると刀剣は武家にとって、最も大切な御道具とされ、大名間の贈答にも多く使われました。

日本刀の鑑賞的要素は、「姿」・「刃文」・「鍛え肌」です。「姿」は時代の戦術的变化によって特徴が変わり、「刃文」は地域の焼入れ方法や時代の違いによってさまざまに変化しました。

今回の展示では、平安時代末期から幕末までの代表的な刀剣を展示して日本刀の魅力に迫ります。刀装具では、金家、信家と祐乘を12点ずつ展示します。また、すべての刀剣と拵を旧幕時代に使われていた刀掛に展示します。これらの展示の試みは世界で初めてです。

関連イベント (参加費無料、実演は一部材料費有)
申込先：TEL 0554-45-8008 / E-mail：tsuhaku@city.tsuru.lg.jp

●**スライドレクチャー「日本刀の魅力に迫る」**
専門家による日本刀についての講演と列品解説。
講師：伊藤 満氏 (日本美術刀剣保存協会山梨県支部支部長)
日時：令和2年11月15日(日) 13:00~14:30
定員：30名(事前申込)

●**講演「刀装具とは」**
刀剣趣味の究極とされる刀装具の世界をご紹介します。
講師：萩原 守氏 (日本美術刀剣保存協会山梨県支部支部長)
日時：令和2年12月6日(日) 13:00~14:00
定員：30名(事前申込)

●**現代刀匠による「銘切り実演」**
小さな金属板に指定の文字を切ります。
講師：山本清二刀匠 (中央市在住)、吉田康隆刀匠 (身延町在住)
日時：令和2年11月28日(土)/令和2年12月20日(日)
14:30~16:30
定員：材料がなくなり次第終了(申込不要、見学可)
料金：2,000円(材料費)

●**刀剣・刀装具相談会**
専門家による刀剣相談会。
講師：伊藤 満氏 (日本美術刀剣保存協会山梨県支部支部長)
中川 博氏 (日本美術刀剣保存協会山梨県支部役員)
日時：令和2年11月22日(日) 13:00~14:30
定員：15名(事前申込)
※刀剣類は必ず「銃砲刀剣類登録証」と一緒にご持参ください。

●**「鉄芸」による現代刀職実演**
日本刀文化啓蒙団体「鉄芸」による、現代刀職の実演です。
講師：石田國壽(刀鍛冶)、小川和比古(研師)、藤代龍哉(研師)、松村壮太郎(研師)
水田吉政(研師)、森井敦央(鞘師)、飯田慶雄(飯田高遠堂)
日時：令和3年1月9日(土) 10:00~12:00/13:30~17:00

●**初心者講座「日本刀に触れてみませんか」**
初心者向けの日本刀の取り扱いについてのレクチャー。
講師：服部浩平(ミュージアム都留学芸員)
日時：窓口、ミュージアム都留 HP、Twitter上でご案内します。
定員：同上(事前申込) ※高校生未満の方は要保護者同伴

新型コロナウイルス感染拡大により、展示・イベントが中止になる可能性があります。
感染拡大防止対策(窓口検温・来館者情報提出、館内マスク着用・手指消毒等)にご協力ください。

主催：都留市/都留市教育委員会/日本美術刀剣保存協会山梨県支部
共催：公益財団法人日本美術刀剣保存協会
後援：テレビ山梨/日本ネットワークサービス/山梨日日新聞社/山梨放送
朝日新聞甲府総局/産経新聞甲府支局/毎日新聞甲府支局/読売新聞甲府支局
山梨新報/エフエム富士



都留市博物館
「ミュージアム都留」



金梨地三葉奏紋磚繪鞘糸巻太刀拵



宮本武蔵 海鼠透鐔(重美)



石黒政美 松樹尾長鳥図鐔



金家 面壁達磨磨図鐔(重美)



信家 車透鐔



荒木東明 粟穂図鐔